

第3期花巻市教育振興基本計画「3 生涯学習の推進」 / 主な事業の実施状況

資料 1

・生涯学習の推進

＜社会教育に関する事業＞

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
1. 自主的活動の推進	(1) 多様なニーズやライフスタイルに応じた講座の開設 (2) 自発的・自主的学習活動の支援と相談体制の充実 (3) 情報発信の強化 (4) 生涯学習関連施設の充実・利用促進	①生涯学習講座開催事業 【生涯学習課】 ○市民講座の開催 ・生涯学習課・まなび学園(7講座 21回 延べ受講者数 252人) ・各総合支所等(10講座 24回 延べ受講者数 214人) ○高齢者学級 ・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和総合支所(延べ 179回開催 延べ受講者数 2,712人) ○女性学級 ・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和総合支所(19回開催 延べ受講者数 231人) ○イーハトーブ花巻カレッジ (5回開催 延べ受講者数 100人) ※岩手大学教育学部出前講座より名称変更、教育学部だけでなく人文社会科学部へも講師依頼 ○富士大学花巻市民セミナー (6回開催 延べ受講者数 98人) ○家庭教育支援講座 ・赤ちゃん教室(3回開催 延べ受講者数 15組 42人) ○地域生涯学習担当者研修 (実施 4回 延べ参加者数 123人 うちリモート参加者 56人) →全4回のうち3回は会場のほかZoomを利用しリモートでも開催	①生涯学習講座開催事業 【生涯学習課】 ○市民講座の開催 ・生涯学習課・まなび学園(10講座 39回) ・各総合支所等(14講座 38回) ○高齢者学級(まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和総合支所)(延べ 224回開催予定) ○女性学級(まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和総合支所)(22回開催予定) ○イーハトーブ花巻カレッジ (5回開催) ○富士大学花巻市民セミナー (6回開催) ○家庭教育支援講座 (3コース 延べ 7回開催予定) ○地域生涯学習担当者研修 (3回開催予定)	①生涯学習講座開催事業 【生涯学習課】 ○市民講座の開催 ・生涯学習課・まなび学園 9講座25回 延べ受講者数 389人 ・各総合支所 (大迫) 3講座7回 延べ受講者数 130人 (石鳥谷) 3講座10回 延べ受講者数 132人 (東和) 3講座11回 延べ受講者数 151人 ○高齢者学級 ※2月末現在 ・生涯学習課・まなび学園 198回 延べ受講者数 2,453人 ・各総合支所 (大迫) 10回 延べ受講者数 387人 (石鳥谷) 5回 延べ受講者数 127人 (東和) 10回 延べ受講者数 233人 ○女性学級 ・生涯学習課・まなび学園 11回 延べ受講者数 162人(見込み) ・各総合支所 (大迫) 5回 延べ受講者数 41人 (石鳥谷) 3回 延べ受講者数 18人 (東和) 3回 延べ受講者数 23人 ○イーハトーブ花巻カレッジ ・5回開催 延べ受講者数 78人 ※岩手大学の他、県立大学、盛岡大学の教授等にも講師を依頼 ○富士大学花巻市民セミナー ・6回開催 延べ受講者数 106人 ○家庭教育支援講座 ・赤ちゃん・幼児向け 5回開催 延べ受講者数 69人 ・親子向け 1回開催 10家族 ○地域生涯学習担当者研修 ・4回開催(3回目は中止) 1回目 13人、2回目22名(リモート13人)、3回目 中止、4回目(3月実施)
		◆令和3年度のまとめ◆ ・コロナ感染症による施設の利用制限により、講座を開催するための会場が利用できないなどの影響はあったものの、回数や時間などを調整し大方の事業は、実施することが出来た。 ・家庭教育講座については「赤ちゃん教室」のみ開催したが、祖父母や家族等を対象とした講座内容は課題である。	●令和4年度の重点● ・講座開催にあたりコロナ感染症対策をするほか、施設利用制限時には会場、回数等の調整をの上事業実施する。 ・家庭教育講座について赤ちゃんに限らず幼児以上の子どもとその家族に対象を広げて実施する。	◆令和4年度のまとめ◆ ・講座開催にあたり参加人数や時間、回数など調整を行い、コロナ感染症対策しながら予定した事業を行うことが出来た。また、令和3年度の実績と比較し開催回数や受講者数が増となった。 ・家庭教育講座については赤ちゃんに加え幼児を対象としたことで、多くの申し込みをいただいたことから、同じ内容で講座を2回開催するなどして申し込みに対応した。また、小学生とその家族を対象とした「流しそうめんコースづくり」についても、多くの申し込みをいただき好評であった。
		②生涯学習活動支援事業 【生涯学習課】 ○ふれあい出前講座(登録講座数 244講座) ・公共編 96講座 (利用件数 29件、延べ人数 1,158人) ・生涯学習講師編 148講座 (利用件数 149件、延べ人数 2,543人) ○生涯学習フェア(まなび学園祭)開催 →未実施 ○まなびキャンパスカード事業 ・対象施設 20施設 ・延べ利用者数 10,623人	②生涯学習活動支援事業 【生涯学習課】 ○ふれあい出前講座 (登録講座数231講座) ・公共編 98講座 ・生涯学習講師編 133講座(新規講師数 7名) ○生涯学習フェア(まなび学園祭)開催 ・展示部門、舞台発表部門他開催を予定 ○まなびキャンパスカード事業 ・20施設で実施	②生涯学習活動支援事業 【生涯学習課】 ○ふれあい出前講座 (登録講座数231講座) ※1月末時点 ・公共編 98講座 48回 延べ受講者数 1,563人 ・生涯学習講師編 133講座(新規講師数 5名) 178回 延べ受講者数 3,037人 ○生涯学習フェア(まなび学園祭)開催 ・展示部門、舞台発表部門他開催 延べ来場者数 794人 (ステージ発表 9団体 113人出場 作品展示 41団体、1,088作品) ○まなびキャンパスカード事業 ・20施設で実施 ・延べ利用者数 9,447人 ※1月末時点

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
		○花巻・遠野連携「まなびキャンパスカード」事業 ・対象施設 26施設 ・花巻市対象施設(12施設／文化施設のみ対象)における遠野市民延べ利用者数 73人 ○「はなまきまなびガイド」運用事業 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関など学習資源をHPで紹介 ○「はなまきナビ！」活用事業 はなまきナビ！を活用し、イベント情報や施設利用情報を公開 ○各種情報発信 広報やHP、FMや有線放送、SNSによる情報発信、マスコミへの情報提供等により広く市民に生涯学習にかかる情報提供を行った	○花巻・遠野連携「まなびキャンパスカード」事業 まなびキャンパスカード事業対象施設(20施設)に遠野市6施設を加え、両市連携して行う ○「はなまきまなびガイド」運用事業 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関など学習資源をHPで紹介 ○「はなまきナビ！」活用事業 はなまきナビ！を活用し、イベント情報や施設利用情報を公開 ○各種情報発信 広報やHP、FMや有線放送、SNSによる情報発信、マスコミへの情報提供等により広く市民に生涯学習にかかる情報提供を行う	○花巻・遠野連携「まなびキャンパスカード」事業 まなびキャンパスカード事業対象施設(20施設)に遠野市6施設を加え、両市連携して行う ○「はなまきまなびガイド」運用事業 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関など学習資源をHPで紹介 ○「はなまきナビ！」活用事業 はなまきナビ！を活用し、イベント情報や施設利用情報を公開 ○各種情報発信 広報やHP、FMや有線放送、SNSによる情報発信、マスコミへの情報提供等により広く市民に生涯学習にかかる情報提供を行う
		◆令和3年度のまとめ◆ ・ふれあい出前講座の新規登録講師・講座数を増やすことが出来た。 ・生涯学習講師を安定したかたちでの募集・登録が課題である。	●令和4年度の重点● ・コロナ感染症に留意し、生涯学習フェアを開催する。 ・引き続き、未登録の講師に声がけを行うなどし、生涯学習講師の募集を行う。	◆令和4年度のまとめ◆ ・ふれあい出前講座については、新規講師登録に5人の登録をいただいた。また、令和3年度の実績と比較し開催回数や受講者数が増となった。 ・生涯学習フェアについては、規模を縮小しながらも3年ぶりに「まなび学園祭」として開催し、学びの発表に資することが出来た。
		③視聴覚教育推進事業 【花巻図書館】 ○視聴覚教育ライブラリー 学校、官公署及び生涯学習を行う団体へ視聴覚機材および教材の貸出（年間上映回数 130回、観覧者数 3,703人） ○16ミリ映写機操作技術講習会の開催 （1回実施、受講者8人） ○映画会の開催 ・夏休み・冬休み・春休みこども映画会の開催（参加者延べ 237人 春中止） ・花巻図書館 こども映画会(4回開催 参加者 37人) 読書週間等映画会(2回開催 参加者 24人) 休日ほっと映画会(4回開催 参加者 17人) バリアフリー映画会(1回開催 参加者 12人) ・大迫図書館 映画会(1回開催 参加者 21人) 学童出前映画会(1回開催 参加者 31人) ・石鳥谷図書館 土曜わくわくタイム(14回開催 参加者 75人) おばけ映画会→中止 日曜映画会(1回開催 参加者 2人) ・東和図書館 土曜親子映画会(4回開催 参加者 64人) 日曜くつろぎの映画会(4回開催 参加者 9人) ※4月12日～10月8日、1月25日以降館内イベントを中止	③視聴覚教育推進事業 【花巻図書館】 ○視聴覚教育ライブラリー 学校、官公署及び生涯学習を行う団体へ視聴覚機材および教材の貸出 ○16ミリ映写機操作技術講習会の開催（年1回） ○映画会の開催 ・夏休み・冬休み・春休みこども映画会の開催 ・花巻図書館 こども映画会(毎月1回)、読書週間等映画会(年3回)、休日ほっと映画会(毎月1回)、バリアフリー映画会(年1回) ・大迫図書館 映画会(年2回)、学童出前映画会(年1回) ・石鳥谷図書館 土曜わくわくタイム(毎週1回)、日曜映画会(年2回) ・東和図書館 土曜親子映画会(毎月1回)、日曜くつろぎの映画会(毎月1回)	③視聴覚教育推進事業 【花巻図書館】 ○視聴覚教育ライブラリー 学校、官公署及び生涯学習を行う団体へ視聴覚機材および教材の貸出（年間上映回数 203回、観覧者数 2,505人） 2月末現在 ○16ミリ映写機操作技術講習会の開催（年1回） （1回実施、受講者8人） ○映画会の開催 2月末現在 ・夏休み・冬休みこども映画会の開催（参加者延べ 379人） ・花巻図書館 こども映画会(10回開催 参加者 105人) 読書週間等映画会(3回開催 参加者 21人) 休日ほっと映画会(11回開催 参加者 72人) バリアフリー映画会(1回開催 参加者 14人) ・大迫図書館 映画会(回開催 参加者 人) 3月開催 学童出前映画会(2回開催 参加者 82人) ・石鳥谷図書館 土曜わくわくタイム(39回開催 参加者 291人) 日曜映画会(2回開催 参加者 6人) ・東和図書館 土曜親子映画会(8回開催 参加者 75人) 日曜くつろぎの映画会(11回開催 参加者 46人)
		◆令和3年度のまとめ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大により中止した映画会が多く、利用が少ない状況であるが、映画会の会場を文化会館に変更したり、視聴覚教育ライブラリーの情報提供を行い利用者の確保に努めた。	●令和4年度の重点● 引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら映画会等事業を実施する。積極的に視聴覚教育ライブラリーの情報提供を行い、利用促進を図る。	◆令和4年度のまとめ◆ 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら映画会を実施した。コロナ禍以前の利用者数には至っていない状況であるが、映画会の会場を工夫したり、視聴覚教育ライブラリーの情報提供を行い利用者の確保に努めた。
		④生涯学習施設整備事業 【生涯学習課】 花巻市生涯学園都市会館、石鳥谷生涯学習会館等、生涯学習施設の維持管理を実施 ○花巻市生涯学園都市会館(第2期)大規模改修工事 ・エレベーター交換、照明設備LED化 他 ○石鳥谷生涯学習会館 ・トイレ洋式化、空調設備改修実施設計	④生涯学習施設整備事業 【生涯学習課】 花巻市生涯学園都市会館、石鳥谷生涯学習会館等、生涯学習施設の維持管理を実施 ○花巻市生涯学園都市会館(第2期)大規模改修工事 ・エレベーター交換、照明設備LED化 他 ○石鳥谷生涯学習会館 ・トイレ洋式化、空調設備改修実施設計	④生涯学習施設整備事業 【生涯学習課】 花巻市生涯学園都市会館、石鳥谷生涯学習会館等、生涯学習施設の維持管理を実施 ○花巻市生涯学園都市会館(第3期)大規模改修工事 ・修正設計業務 ○石鳥谷生涯学習会館 ・講堂空調設備改修、R5外壁塗装改修工事実施設計等業務
		◆令和3年度のまとめ◆ ・生涯学園都市会館、石鳥谷生涯学習会館とも予定どおりに工事を実施	●令和4年度の重点● ・生涯学園都市会館 R5大規模改修(第3期)工事修正設計業務を実施 ・石鳥谷生涯学習会館 講堂空調設備改修、R5外壁塗装改修工事実施設計等業務を実施	◆令和4年度のまとめ◆ ・生涯学園都市会館、石鳥谷生涯学習会館とも予定どおりに工事等を実施した。

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
		⑤読書活動推進事業 【花巻市立図書館】 ○ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業の実施 ・5か月児と1歳6か月児を対象に絵本のプレゼント ・フォローアップ事業として絵本展を開催（イベントは中止） （5か月児参加者 444人、1歳6か月児参加者 517人） ○おはなし会の実施 （44回開催 延べ参加者数 293人） ・花巻図書館（16回開催 延べ参加者数 121人） ・大迫図書館（3回開催 延べ参加者数 10人） ・石鳥谷図書館（20回開催 延べ参加者数 89人） ・東和図書館（5回開催 延べ参加者数 73人） ○みんなでライブラリーの開催 （1回開催、参加者10人） ○読書活動推進スキルアップ講座の開催 （3回開催 参加者30人） ○読書おもいで帳の発行 （発行者数 478人） ○第四次花巻市子ども読書活動推進計画の策定 ※4月12日～10月8日、1月25日以降館内イベントを中止	⑤読書活動推進事業 【花巻市立図書館】 ○ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業の実施 5か月児と1歳6か月児を対象に絵本のプレゼント、フォローアップ事業として絵本展や読み聞かせ等のイベントを開催予定 ○おはなし会の実施 ・花巻図書館 0～2歳、3～4歳、5～6歳、小学校低学年対象 毎月各1回 ・大迫図書館 毎月1回 ・石鳥谷図書館 毎週1回 ・東和図書館 毎月1回 ○みんなでライブラリーの開催 （4回開催） ○読書活動推進スキルアップ講座の開催 （4回開催） ○読書おもいで帳の発行	⑤読書活動推進事業 【花巻市立図書館】 ○ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業の実施 ・5か月児と1歳6か月児を対象に絵本のプレゼント （5か月児参加者 337人、1歳6か月児参加者 405人） 1月末現在 ・フォローアップ事業として絵本の読み聞かせ等のイベントを実施 （参加者28人） ○おはなし会の実施 （109回開催 延べ参加者数 866人） 2月末現在 ・花巻図書館（ 40回開催 延べ参加者数 306人） ・大迫図書館（ 20回開催 延べ参加者数 197人） ・石鳥谷図書館（ 39回開催 延べ参加者数 286人） ・東和図書館（ 10回開催 延べ参加者数 77人） ○みんなでライブラリーの開催 （4回開催、参加者89人） ○読書活動推進スキルアップ講座の開催 （4回開催 参加者99人） ○読書おもいで帳の発行 （発行者数 922人） 2月末現在
		◆令和3年度のまとめ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大により、中止した館内イベントが多かったが、ブックスタート事業（絵本の配付）や読書おもいで帳の発行などを行い、本に触れる機会をつくったほか、中止となったイベントについても企画展示で本の紹介を行うなど読書活動を推進した。	●令和4年度の重点● 引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を進める。 第四次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、読書おもいで帳の発行など、読書への関心を高める取組を進め、読書習慣の定着を図る。	◆令和4年度のまとめ◆ 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施。ブックスタート事業（絵本の配付）や読書おもいで帳の発行などを行い、本に触れる機会をつくった。また、イベントや講座を開催し、読書活動を推進した。
		⑥図書館整備事業 【新花巻図書館計画室】 新花巻図書館の整備に向けて、新花巻図書館整備基本計画案を策定するにあたり計画試案を作成し、専門的な見地から意見を聴取するために、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を実施している他、図書館整備の情報発信をするための専用ホームページを作成 ○新花巻図書館整備基本計画試案検討会議 ・4月～3月まで 7回開催 ○図書館整備情報発信等業務 ・新花巻図書館ポータルサイト（11月から公開） ユーザー数 2,006人、PV数 9,471PV（3月31日時点）	⑥図書館整備事業 【新花巻図書館計画室】 新花巻図書館の整備に向けて、新花巻図書館整備基本計画案を策定するにあたり計画試案を作成し、専門的な見地から意見を聴取するために、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を実施 ○新花巻図書館整備基本計画試案検討会議 ・月に1回程度の実施	⑥図書館整備事業 【新花巻図書館計画室】 新花巻図書館の整備に向けて、新花巻図書館整備基本計画案を策定するにあたり計画試案を作成し、専門的な見地から意見を聴取するために、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を実施 ○新花巻図書館整備基本計画試案検討会議 ・月に1回程度の実施
		◆令和3年度のまとめ◆ ・新花巻図書館整備基本計画試案検討会議において出された意見の他、図書館に関係する団体、市内高等学校の生徒等からもさらに意見を集約しながら試案を整理し計画（案）に繋げたい。 ・計画（案）とするために、図書館の建設場所や駐車場、蔵書計画などが課題。	●令和4年度の重点● ・令和3年度に引き続き、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催し、建設場所の選定や駐車場、蔵書計画などの検討を行う。 ・試案整理後は、計画（案）とし、市民参画の手続きを経て、基本計画の策定を目指す。	◆令和4年度のまとめ◆ ・新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催し、新図書館のサービスや機能についてまとめ、また建設候補地について検討した。 ・試案検討会議の検討を踏まえ、新図書館のサービスと機能、建設候補地の一つであるJR花巻駅前スポーツ用品店敷地の土地所有者であるJR東日本と具体的な条件について交渉することについて、市民説明会等を開催した。
		⑦図書館改修事業 【花巻市立図書館】 利用者が安全かつ快適に施設を長期的にわたり利用できるよう計画的に図書館の改修等を実施 ○石鳥谷図書館空調設備更新 ・工事監理業務委託 ・空調設備更新工事	⑦図書館改修事業 【花巻市立図書館】 （石鳥谷図書館空調設備更新について、前倒しで3年度で完了）	⑦図書館改修事業 【花巻市立図書館】 （石鳥谷図書館空調設備更新について、前倒しで3年度で完了）
		◆令和3年度のまとめ◆ 令和4年度までの事業計画であったが、前倒しで3年度で完了。	※令和4年度実施事業なし	※令和4年度実施事業なし

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
2. 青少年健全育成の推進	(1) 健全育成活動の推進	①青少年活動推進事業 【生涯学習課】 ○はなまきおもしろ探検隊 ・小学3～6年生 20人(4回開催 延べ受講者数 71人) ・高校生ボランティア研修(2回開催 受講者数 11人) 探検隊事業への参加(4回依頼 延べ参加者 31人) ○青少年関連団体支援事業 青少年団体への補助を実施(ガールスカウト岩手県第5団、花巻少年少女発明クラブ、花巻市青少年育成市民会議) ○成人式開催 ・式典の部と記念行事の部の2部構成で実施 ・対象者 1,011人(参加者 男性 421人、女性 354人 計 775人)	①青少年活動推進事業 【生涯学習課】 ○はなまきおもしろ探検隊 ・小学3～6年生を対象 5回開催 ・高校生ボランティア研修 2回開催 ○青少年関連団体支援事業 青少年団体への補助を実施予定(ガールスカウト岩手県第5団、花巻少年少女発明クラブ、花巻市青少年育成市民会議) ○20歳のつどい開催 ・式典の部と記念行事の部の2部構成で実施予定 ・対象者808人(男性 425人、女性 383人)※外国人も含む	①青少年活動推進事業 【生涯学習課】 ○はなまきおもしろ探検隊 ・小学3～6年生を対象 5回開催 延べ受講者数 81人 ・高校生ボランティア研修 2回開催 延べ受講者数 8人 内、探検隊事業への参加 5回開催 延べ30人 ○青少年関連団体支援事業 青少年団体への補助を実施予定(ガールスカウト岩手県第5団、花巻少年少女発明クラブ、花巻市青少年育成市民会議) ○20歳のつどい開催 ・式典の部と記念行事の部の2部構成で実施予定 ・対象者 950人(男性 492人、女性 458人)※外国人も含む ・参加者 686人(男性 360人、女性 326人) 出席率 72.21%
		◆令和3年度のまとめ◆ ・成人式については、コロナ感染症対策として会場を文化会館から、広い間隔で座ることができる総合体育館に変更した他、入場は新成人のみとし、当日の様子はYoutubeLiveで生配信することにより、ご家族にも配慮しながら実施することが出来た。 ・実行委員会活動のスタートがコロナで遅れたため、予定を縮めて詰め込むかたちとなり、ぎりぎりの準備となったことから、コロナを意識したスケジュールが課題である。	●令和4年度の重点● ・20歳のつどいについてコロナ感染症の状況に応じて開催会場を決定する。 ・20歳のつどい実行委員会の活動について、コロナ感染症の影響を意識したスケジュールにより進める。	◆令和4年度のまとめ◆ ・今年度から「成人式」を「20歳のつどい」に名称をあらため、式典と実行委員会行事による開催形式は継続して行った。また、施設の利用制限が緩和されたことにより、会場を文化会館に戻し、入場は20歳の対象者のみとし、当日の様子はYoutubeLiveで生配信することにより、ご家族にも配慮しながら実施することが出来た。 ・実行委員会活動については、県外など離れた場所からオンラインにより活動に参加するという委員が数名おり、コロナ後の開催スタイルとして定着しているが、コミュニケーションの取り方が難しいと感じる委員もあり課題である。

<生涯学習に関連する事業>

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
2. 青少年健全育成の推進	(1) 青少年の非行防止	①少年センター運営事業 【市民生活総合相談センター】 ○少年センター運営事業 少年補導委員による街頭補導活動を実施し少年の非行防止に努める ・少年補導委員 88人による街頭補導活動を実施(延べ活動回数 239回) ・月1～2回補導活動 ・長期休業期間に合わせて補導活動	①少年センター運営事業 【市民生活総合相談センター】 ○少年センター運営事業 少年補導委員による街頭補導活動を実施し少年の非行防止に努める	①少年センター運営事業 【市民生活総合相談センター】 ○少年センター運営事業 少年補導委員による街頭補導活動を実施し少年の非行防止に努める ・少年補導委員85名による街頭補導活動を実施(延べ活動回数 317回) ・月1～2回の定期活動のほか長期休業期間や祭事などの各種行事に合わせて補導活動を実施
		◆令和3年度のまとめ◆ ・令和3年8月～9月 岩手緊急事態宣言発令のため街頭補導活動中止 ・令和4年2月～3月 同上 ・中止期間を除き通常月1回の街頭補導活動実施	●令和4年度の重点● 少年補導委員86人による街頭補導活動を実施 ・月1～2回実施 ・長期休業期間に合わせて実施	◆令和4年度のまとめ◆ ○少年センター運営事業 ・令和4年4月 岩手緊急事態宣言発令のため街頭補導活動自粛、中止期間を除き通常月1回の街頭補導活動実施 ・少年補導委員は教職員、地域推薦者等へ委嘱しており任期は2年。現在85名の36班体制。非行少年を補導することが主たる目的とはせず、子どもたちを見守る視点で活動をしていただいていた。 ・街頭補導活動の実施にあたり、R4.12月より抗原検査キットを配付し新型コロナウイルス感染症対策を講じた。
3. 国際化の推進	(1) 国際理解の醸成 (2) 国際都市化に向けた環境づくり	①国際都市推進事業 【国際交流室】 ○国際フェア開催事業 ・国際フェアINはなまき→中止 ※代替として特別展示「姉妹都市ホツスプリングス市調査団長の漫画スケッチ(道中記録)」を交流会館で1月6日～3月23日に実施 ○市民語学講座開催事業 ・多文化サロン、市民講座(21回開催 延べ受講者数 298人) ※この他、花巻国際交流協会職員を講師派遣(出前講座:大迫中 67人、未来図書館:矢沢小 60人・石鳥谷中 125人)	①国際都市推進事業 【国際交流室】 ○国際フェア開催事業 ・国際フェアINはなまきを開催予定 ○市民語学講座開催事業 ・多文化サロン、市民講座など国際理解推進の事業の実施	①国際都市推進事業 【国際交流室】 ○国際フェア開催事業 ・国際フェアINはなまき→代替事業実施 ※『「つなぐ」・「つながる」国際交流で広ひろがる世界』をテーマにオンライン姉妹都市交流の成果発表やJICA体験談発表を交流会館で2月26日に実施 ○市民語学講座開催事業 ・多文化サロン、市民講座(29回開催 延べ受講者数415人) ※この他、花巻国際交流協会職員を未来図書館講師として派遣(中学校5校小学校1校、参加児童生徒計499人)
		◆令和3年度のまとめ◆ 施設利用制限により延期や中止となった事業もあるが、時期等を調整し予定していた事業を概ね実施することが出来た。また、事業計画にはなかったが、出前講座等を実施し、国際交流協会職員を6回講師派遣した。	●令和4年度の重点● 新型コロナウイルスの感染状況をみながら、多文化サロンや語学講座等の事業を実施し、実施が難しい事業等がある場合についての代替事業等を工夫しながら、市民の国際理解を推進する。	◆令和4年度のまとめ◆ 新型コロナウイルスの影響により国際フェアは代替事業の実施となったが、語学講座等は予定通り実施することが出来た。また、昨年度同様、市内の小中学校で実施された未来図書館で国際交流協会職員が講師を務め青少年の国際理解推進に資することができた。

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
	(3) 国際交流の推進	②国際姉妹都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○国際姉妹都市青少年海外派遣研修事業 →中止 ○海外青少年受入事業 →中止	②国際姉妹都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○国際姉妹都市青少年海外派遣研修事業 ・ホツスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村へ市内中学生等を派遣予定 →新型コロナウイルスの影響により中止、代替事業を今後検討予定。 ○海外青少年受入事業 →新型コロナウイルス感染症の影響により中止	②国際姉妹都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○国際姉妹都市青少年海外派遣研修事業 →新型コロナウイルスの影響により中止、代替事業としてオンライン姉妹都市交流を4回実施、市内中学生10人が参加 ○海外青少年受入事業 →新型コロナウイルス感染症の影響により中止
		◆令和3年度のまとめ◆ 渡航制限により直接の交流は中止となったが、昨年度から継続している花巻北高校の姉妹校ASMSAとのオンライン交流の支援を行い、R3年度は6回実施することができた(R2は3回)。次年度は他の交流先とのオンライン交流も検討したい。	●令和4年度の重点● 新型コロナウイルスの感染状況をみながら、相互訪問等の直接の交流が難しい場合はオンライン等を活用した交流事業を実施し、姉妹都市等との交流を推進する。	◆令和4年度のまとめ◆ 新型コロナウイルスの影響によりは直接の交流は中止となったが、R2年度から継続している花巻北高校の姉妹校ASMSAとのオンライン交流を5回実施することができたほか、中学生を対象としたオンライン姉妹都市交流を4回実施することができた。
	(4) 国内交流の活性化	③国内友好都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○国内友好都市交流事業・少年少女交流事業 ・友好都市交流キャンプ→中止 ・市民ツアー(十和田市への派遣)→中止	③国内友好都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○国内友好都市交流事業・少年少女交流事業 ・友好都市交流キャンプ代替事業「平塚・花巻交流の森自然体験交流事業」実施予定 ・市民ツアー(十和田市との相互訪問)実施予定	③国内友好都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○国内友好都市交流事業・少年少女交流事業 ・友好都市交流キャンプ代替事業「平塚・花巻交流の森自然体験交流事業」は新型コロナウイルスの感染再拡大により中止 ・市民ツアー(十和田市との相互訪問)実施、花巻市民27名、十和田市民28名が参加 ・わんこそば大会で平塚市から織り姫3名食士3名職員2名受け入れ対応
		◆令和3年度のまとめ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大により直接の交流は実施できなかったが、修学旅行で来花した十和田市児童へのお土産の配布や平塚市七夕まつりへの市内の神楽団体の動画提供等により間接的な交流を行った。また、情報誌「ひと花」の発行・配布により友好都市の情報を広く市民に発信した。	●令和4年度の重点● 新型コロナウイルスの感染状況をみながら、市民ツアー等の事業を実施し、友好都市との交流を推進する。	◆令和4年度のまとめ◆ 新型コロナウイルスの感染再拡大により小学生の交流事業は直前で中止となったが、十和田市との市民ツアーや平塚市からのわんこそば受け入れを実施することができた。情報誌「ひと花」の発行・配布により友好都市の情報を広く市民に発信した。

・スポーツの振興
 <社会教育に関する事業>

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
1. 生涯スポーツの推進	(1) 生涯スポーツ活動の推進	①地域スポーツ推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ・レクリエーション指導者の配置 ・スポーツ指導員 1人、スポーツ推進委員 39人、地域スポーツ普及員 341人 ○スポーツ教室・イベント等の開催 ・早起きマラソン→中止 ・ニュースポーツ交流大会→中止 ・鉛温泉スキー場イベント(スキー場開き12月23日、スキーの日イベント1月9日) ・スノースポーツフェスティバル→中止	①地域スポーツ推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ・レクリエーション指導者の配置 ・スポーツ指導員 1人、スポーツ推進委員 39人、地域スポーツ普及員 331人 ○スポーツ教室・イベント等の開催 ・早起きマラソン ・ニュースポーツ交流大会 ・鉛温泉スキー場イベント(スキー場開き、スキーの日イベント) ・スノースポーツフェスティバル	①地域スポーツ推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ・レクリエーション指導者の配置 ・スポーツ指導員 1人、スポーツ推進委員 39人、地域スポーツ普及員 331人 ○スポーツ教室・イベント等の開催 ・早起きマラソン ・ニュースポーツ交流大会→ニュースポーツ体験会(2月19日) ・鉛温泉スキー場イベント(スキー場開き(12月23日)、スキーの日イベント(1月8日) ・スノースポーツフェスティバル(2月19日)
		◆令和3年度のまとめ◆ ・スポーツ・レクリエーション指導者を配置し、また、早起きマラソンやニュースポーツ交流大会を企画し、地域(生涯)スポーツの振興に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業が中止となった。感染症対策を行ったうえでの事業開催が課題である。	●令和4年度の重点● ・スポーツ・レクリエーション指導者を配置し、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで、だれでも親しめるニュースポーツ等の普及を図る。 ・市民の健康増進と体力づくりを図るため、早起きマラソン、ニュースポーツ交流大会やスポーツ教室などのイベント等を新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで開催する。	◆令和4年度のまとめ◆ ・スポーツ・レクリエーション指導員を配置し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、だれでも親しめるニュースポーツ等の普及に努めた。 ・市民の健康増進と体力づくりを図るため、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、早起きマラソン、ニュースポーツ体験会やスポーツ教室などのイベント等を開催した。
		②地域スポーツ推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ団体等の支援 補助金交付(花巻市体育協会、大迫町体育協会、石鳥谷町体育協会、東和町体育協会、スポーツ少年団本部)	②地域スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ団体等の支援 補助金交付(花巻市体育協会、大迫町体育協会、石鳥谷町体育協会、東和町体育協会、スポーツ少年団本部)	②地域スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ団体等の支援 補助金交付(花巻市体育協会、大迫町体育協会、石鳥谷町体育協会、東和町体育協会、スポーツ少年団本部)
		◆令和3年度のまとめ◆ ・各団体へ補助金を交付し、地域(生涯)スポーツの振興が図られた。 ・概ね計画された事業を行うことができたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業開催が難しかった団体もあった。 ・感染症対策を行ったうえでの事業開催が課題である。	●令和4年度の重点● ・各団体へ補助金を交付し、地域(生涯)スポーツの振興を図る。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで事業を開催できるよう支援する。	◆令和4年度のまとめ◆ ・各団体へ補助金を交付し、地域(生涯)スポーツの振興が図られた。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで事業が開催できるよう支援した。
2. 競技スポーツの推進	(1) 競技レベルの向上	①競技スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○全国大会等出場支援 補助金交付(小学生 34件、中学生 80件、高校生4件、大学生 8件、一般 0件、計 126件)(令和4年3月末現在) ○県民体育大会出場支援 花巻代表選手の参加料 538人、交通費 599人、宿泊 43人 ○スポーツ大会開催支援 ・早起き野球リーグ、岩手県高校駅伝(10月21日)、ふれあいソフトボール大会(5月3日・4日)、全国教職員剣道大会→中止、全日本レディースソフトボール大会→中止 ・イーハトーブレディース駅伝→中止、イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会→中止、県南広域圏スポーツ等連携事業 ○専門の競技指導者及び選手の養成・確保 指導者講習会	①競技スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○全国大会等出場支援 全国等のスポーツ大会に出場するチーム・選手等に対する補助 ○県民体育大会出場支援 花巻代表選手の参加料、交通費、宿泊の補助 ○スポーツ大会開催支援 ・早起き野球リーグ、岩手県高校駅伝、ふれあいソフトボール大会 ・イーハトーブレディース駅伝、イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会、県南広域圏スポーツ等連携事業 ○専門の競技指導者及び選手の養成・確保 指導者講習会、スポーツ大会開催への補助	①競技スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○全国大会等出場支援 補助金交付(小学生 42件、中学生 73件、高校生 4件、大学生 12 件、一般 5件、計 136件)(令和5年2月末現在) ○県民体育大会出場支援 花巻代表選手の参加料 603人、交通費 772人、宿泊 152人 ○スポーツ大会開催支援 ・早起き野球リーグ(5月～8月)、岩手県高校駅伝(10月20日)、ふれあいソフトボール大会(5月3・4日) イーハトーブレディース駅伝(10月16日)、イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会→中止、県南広域圏スポーツ等連携事業(2月4日) ○専門の競技指導者及び選手の養成・確保 指導者講習会
		◆令和3年度のまとめ◆ ・全国大会等出場への補助金の交付、市内で開催するスポーツ大会開催に対する補助金の 交付を通じて競技スポーツの振興に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により開催が中止となった大会があり、例年より交付実績は低いものとなった。 ・感染症対策を行ったうえでの競技スポーツ活動、大会開催が課題である。	●令和4年度の重点● ・全国大会等出場への補助金の交付、市内で開催するスポーツ大会開催に対する補助金の交付を通じて競技スポーツの振興を図る。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで競技スポーツ活動や大会を開催する。	◆令和4年度のまとめ◆ ・全国大会等出場への補助金の交付、市内で開催するスポーツ大会開催に対する補助金の交付を通じて競技スポーツの振興に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで競技スポーツ活動や大会を開催した。

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
		②第49回東北総合体育大会開催事業 【スポーツ振興課】	②第49回東北総合体育大会開催事業 【スポーツ振興課】	②第49回東北総合体育大会開催事業 【スポーツ振興課】
3. 大規模スポーツ大会の開催	(1) スポーツイベント・大規模大会の誘致 (2) 合宿の誘致 (3) 大規模スポーツ施設の充実	①スポーツ大会・合宿誘致推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツコンベンションビューローへの支援 大規模大会誘致・開催支援、スポーツ合宿誘致・支援、スポーツイベント招致・観戦支援 ○スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助 スポーツコンベンションビューロー事務局職員人件費等(2名分) ○スポーツ合宿支援事業補助 県外の大学等団体が市内スポーツ施設及び宿泊施設を利用する合宿に対する補助(0件) ○ポート日本代表合宿受け入れ オリンピック事前合宿(6月21日～7月19日 10名)	①スポーツ大会・合宿誘致推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツコンベンションビューローへの支援 大規模大会誘致・開催支援、スポーツ合宿誘致・支援、スポーツイベント招致・観戦支援 ○スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助 スポーツコンベンションビューロー事務局職員人件費等(2名分) ○スポーツ合宿支援事業補助 県外の大学等団体が市内スポーツ施設及び宿泊施設を利用する合宿に対する補助 ○ポート日本代表合宿受け入れ 歓迎看板の設置、ポート保管テントの設置等	①スポーツ大会・合宿誘致推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツコンベンションビューローへの支援 大規模大会誘致・開催支援、スポーツ合宿誘致・支援、スポーツイベント招致・観戦支援 ○スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助 スポーツコンベンションビューロー事務局職員人件費等(2名分) ○スポーツ合宿支援事業補助 県外の大学等団体が市内スポーツ施設及び宿泊施設を利用する合宿に対する補助(3件)東京経済大学硬式野球部(7月31日～8月6日)、東京大学男子バスケットボール部(8月12日～16日)、東京大学アイスホッケー部(2月21日～27日) ○ポート日本代表等合宿受け入れ シニア強化合宿 ①(7月22日～8月4日 12名)、②(8月16日～9月10日 12名) 日本オリンピック委員会エリートアカデミー強化合宿(9月15日～19日 5名)
		◆令和3年度のまとめ◆ ・はなまきスポーツコンベンションビューローへ補助金の交付によりスポーツ大会・合宿誘致の推進に努めた。 ・関東圏からの大学のスポーツ合宿は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。オリンピックポート競技日本代表事前合宿は、合宿参加者、ポート場施設職員、宿泊施設職員のPCR検査を実施し、感染症防止対策を講じたうえで実施することができた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況が見通せないため、合宿誘致を積極的にできないことが課題である。	●令和4年度の重点● ・はなまきスポーツコンベンションビューローへ補助金の交付によりスポーツ大会・合宿誘致の推進を図る。 ・引き続き、ポート日本代表の強化合宿を受け入れるための環境を整備する。	◆令和4年度のまとめ◆ ・はなまきスポーツコンベンションビューローへの補助金の交付によりスポーツ大会・合宿誘致の推進に努めた。 ・オリンピック後もポート日本代表の強化合宿を受け入れるため環境整備に努めた。シニア日本代表のほか、エリートアカデミーの強化合宿を受け入れた。
		③東京2020オリパラ関連イベント開始事業 【スポーツ振興課】 ○東京2020オリパラ関連イベント開催事業 ・オリンピック聖火リレーの開催(6月18日) ・パラリンピック聖火フェスティバルの開催(8月12日) ・コミュニティライブサイトの開催→中止	③東京2020オリパラ関連イベント開始事業 【スポーツ振興課】	③東京2020オリパラ関連イベント開始事業 【スポーツ振興課】
		◆令和3年度のまとめ◆ ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、イベント内容を縮小し、感染症防止対策を講じたうえで実施できた。		
		④スポーツ施設環境整備事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ施設改修・整備(8施設) ・花巻球場(防水改修工事の実施設計及び改修工事【R4繰越明許】、高圧受電設備改修工事) ・日居城野陸上競技場(4種L公認申請改修整備) ・鉛温泉スキー場(リフト維持整備) ・大迫テニスコート(人工芝改修工事2面) ・東和ふれあい施設(シート張替・照明LED化工事)	④スポーツ施設環境整備事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ施設改修・整備(7施設) ・花巻球場屋内練習場(防水改修工事の実施設計) ・総合体育館(中央監視システムの更新) ・鉛温泉スキー場(リフト維持整備) ・北湯口野球場(内野グラウンド等の整備) ・矢沢農村運動広場(プール解体工事の実施設計) ・東和体育館(屋根外壁修改修工事の実施設計) ・和田プール(管理棟外壁屋根改修工事の実施設計) ○公認検定等 ・イーハトーブ花巻ハーフマラソンコース(公認期日9/30まで)	④スポーツ施設環境整備事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ施設改修・整備(7施設) ・花巻球場屋内練習場(防水改修工事の実施設計) ・総合体育館(中央監視システムの更新) ・鉛温泉スキー場(リフト維持整備) ・北湯口野球場(内野グラウンド等の整備) ・矢沢農村運動広場(プール解体工事の実施設計) ・東和体育館(屋根外壁修改修工事の実施設計) ・和田プール(管理棟外壁屋根改修工事の実施設計) ○公認検定等 ・イーハトーブ花巻ハーフマラソンコース(公認期日9/30まで)
		【地域づくり課】 ・湯口地区社会体育館(改修工事の実施設計) ・宮野目地区社会体育館(屋根塗装、床張替工事)	【地域づくり課】 ・笹間地区社会体育館(改修工事の実施設計)	【地域づくり課】 ・笹間地区社会体育館(改修工事の実施設計)
		【石鳥谷総合支所地域振興課】 ・八日市運動公園プール(解体工事の実施設計)	【石鳥谷総合支所地域振興課】 ・八日市運動公園プール(解体工事) ・大瀬川運動公園プール(解体工事の実施設計)	【石鳥谷総合支所地域振興課】 ・八日市運動公園プール(解体工事) ・大瀬川運動公園プール(解体工事の実施設計)
		◆令和3年度のまとめ◆ ・花巻球場防水改修工事を追加し実施した。 ・計画のとおり施設の改修・整備が実施できた。(花巻市まちづくり総合計画中期プラン)	●令和4年度の重点● ・スポーツ施設の快適な利用環境を整えるため、改修・整備を行う。	◆令和4年度のまとめ◆ ・計画のとおり施設の改修及び実施設計が実施できた。(花巻市まちづくり総合計画中期プラン)

・芸術文化の振興
＜社会教育に関する事業＞

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
1. 芸術文化活動の推進	(1) 芸術文化に触れる機会の提供	①芸術文化推進事業 【生涯学習課】 ○小学生のためのアートセミナー開催 夏：低学年の部「森のキーホルダー&バードコール作り」 高学年の部「台焼の陶芸体験」 （延べ参加者 61人） 冬：1日目「クリスマスリース作り」 2日目「年賀状で使える消しゴムはんこ作り」 （延べ参加者 47組 102人） ○花巻市民芸術祭（令和4年2月現在） 花巻、大迫、石鳥谷、東和の4地区で合計30事業 うち15事業中止 ○花巻市芸術協会事業補助金交付 ○芸術文化全国大会等出場補助金 2校4部門に交付	①芸術文化推進事業 【生涯学習課】 ○小学生のためのアートセミナー開催 夏：低学年の部「オリジナルフォトフレーム作り」 高学年の部「漆の絵付け体験」 冬：題材未定 ○花巻市民芸術祭 花巻、大迫、石鳥谷、東和の4地区で合計32事業を予定 ○花巻市芸術協会事業補助金交付 ○芸術文化全国大会等出場補助金	①芸術文化推進事業 【生涯学習課】 ○小学生のためのアートセミナー開催 夏：低学年の部「オリジナルフォトフレーム作り」 高学年の部「漆の絵付け体験」 （のべ参加者数 46人） 冬：1日目「クリスマスリース作り」 2日目「クリスマスキャンドル作り」 （延べ参加者 29組 62人） ○花巻市民芸術祭 花巻、大迫、石鳥谷、東和の4地区で合計32事業を予定 うち2事業中止 ○花巻市芸術協会事業補助金交付 ○芸術文化全国大会等出場補助金 1校1部門に交付
		◆令和3年度のまとめ◆ ・「小学生のためのアートセミナー」については、定員に対して応募者多数のため、例年より開催日数を増やすなど、規模を拡充して開催した。 ・市民芸術祭については、新型コロナウイルスの影響により、昨年に引き続き中止せざるを得ない事業が多く、参加者のモチベーションの低下などが懸念される。コロナ禍においても活動発表の場を設けるために、オンライン上での動画配信などを検討していきたい。	●令和4年度の重点● ・「小学生のためのアートセミナー」については、応募者多数の状況に対応するために、例年1か所だった会場を、花巻と石鳥谷の2か所することにより、募集定員を昨年度の2倍に拡充して実施する。 ・市民芸術祭については、今年度は計画通りの事業実施を目指し、花巻市民芸術祭花巻地区展示部門の開催に合わせ、新たに舞台発表の場を設けることにより、芸術文化活動の推進と市内芸術団体等のコロナ禍による士気の低下からの脱却を後押しする。	◆令和4年度のまとめ◆ ・「小学生のためのアートセミナー」については、応募者多数の状況に対応するために、例年1か所だった会場を、花巻と石鳥谷の2会場にしたが、管内小学校で新型コロナウイルスが流行していた関係で、申込者数は前年度を割り込む結果となった。一方で、会場を増やしたことにより、申し込み者の分散が図られ、より広く参加機会の提供ができた。 ・市民芸術祭については、コロナ禍が続く中で様々な工夫をしながら、ほぼ計画通りに事業が実施された。新たな試みとして、花巻地区の展示部門の開催に合わせ、「花巻市民コンサート」と称した舞台発表の場を設けた。市内の音楽・演劇・舞踊等の団体が参加し、市民が様々なジャンルの芸術文化に触れる機会を創出した。また、展示部門に併せて子ども向けのウォークラリーを開催し、子どもたちが気軽にまた主体的に芸術文化に関心を持つことができるよう工夫した。
		②芸術文化推進事業 【文化会館】 ○文化会館自主事業 ・一般向け 8事業 うち2事業中止 ・学校団体鑑賞 4事業 うち3事業中止	②芸術文化推進事業 【文化会館】 ○文化会館自主事業 ・大ホール公演等 8事業 ・学校団体鑑賞 4事業 ・市民向け事業 3事業	②芸術文化推進事業 【文化会館】 ○文化会館自主事業 ・大ホール公演等 8事業 ・学校団体鑑賞 4事業 ・市民向け事業 2事業
	(2) 芸術文化活動の支援	◆令和3年度のまとめ◆ ・通常の舞台公演事業に加え、展示ホールを活用した美術展や、大ホールにあるグランドピアノの無料演奏体験など、新たな事業を開催し、新たな利用者を呼び込むことができた。 ・学校団体鑑賞は、コロナの影響により、小学校、中学校対象の3事業が2年続けての中止となった。	●令和4年度の重点● ・大ホール公演等の事業に併せ、アウトリーチや子供たちを対象としたコンサートなど、鑑賞するだけでなく体験できる機会を設けていく。 ・好評のため、引き続きグランドピアノの無料体験を実施するほか、市民を対象としたバックヤードツアーなど、多くの市民に文化会館に足を運んでもらう取り組みを行っていく。	◆令和4年度のまとめ◆ ・大ホールでの公演に併せ、ピアニストや和太鼓団体による子供向けのインリーチ公演を実施することができたほか、0歳から鑑賞できるコンサートの開催など対象者の枠を広げることができた。 ・引き続きグランドピアノの無料体験を実施し好評をいただいたほか、市内小学校のバックヤードツアーの受け入れを行い、文化会館に親しんでもうらう取り組みができた。
		③学校文化活動事業 【生涯学習課】 ○花巻市民芸術祭花巻地区展示部門「小中学生作品展」 11月6日～11月7日開催 展示作品 388点	③学校文化活動事業 【生涯学習課】 ○花巻市民芸術祭花巻地区展示部門「小中学生作品展」 10月29日～10月31日開催	③学校文化活動事業 【生涯学習課】 ○花巻市民芸術祭花巻地区展示部門「小中学生作品展」 10月29日～10月31日開催
		◆令和3年度のまとめ◆ ・出品数については概ね例年通りであり、比較的新型コロナウイルスの感染者が落ち着いてきた時期ということもあって、多くの市民が子ども達の作品を見ることができた。 ・今後は児童の成果発表のみならず、学校と連携して、優れた芸術作品や地元の伝統工芸に児童たちが触れる機会を創出していきたい。	●令和4年度の重点● ・小中学生の作品発表に合わせて、市内小中学校の吹奏楽部などの舞台発表の場を設け、児童生徒の文化活動の成果を広く市民に公開する機会を創出することにより、発表の喜びを体感してもらい芸術文化活動への意欲の向上につなげたい。	◆令和4年度のまとめ◆ ・市民芸術祭小中学生作品展では概ね例年とおりの出品数となった。小中学校との連携事業等にも取り組みたかったが、学校で新型コロナウイルスが流行したこともあり、新たな事業等は実施できなかった。 ・引き続き、学校と連携して子どもたちが芸術文化や伝統工芸等に興味・関心を持てるような事業を検討していきたい。

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
		④美術普及活動推進事業 【萬鉄五郎記念美術館】 →中止	④美術普及活動推進事業 【萬鉄五郎記念美術館】 ○萬鉄五郎祭実行委員会主催事業 ・萬鉄五郎祭顕彰式典(5月3日) 実行委員長あいさつ、鉄人独語朗読をあらかじめ録音し、5月3日に美術館前で放送 ○児童等写生会及び作品展示会 ・写生会 5月1日まで写生作品を募集5月8日までの提出 応募72名 ・作品展示 5月12日～5月29日 東和図書館 ○民間団体が実施する事業に対する支援 ・美術研修会 ・監視ボランティアの養成・研修のための他美術館等を視察 ・萬生誕祭、鉄人忌の後援	④美術普及活動推進事業 【萬鉄五郎記念美術館】 ○萬鉄五郎祭実行委員会主催事業 ・萬鉄五郎祭顕彰式典(5月3日) 実行委員長あいさつ、鉄人独語朗読をあらかじめ録音し、5月3日に美術館前で放送 ○児童等写生会及び作品展示会 ・写生会 5月1日まで写生作品を募集5月8日までの提出 応募72名 ・作品展示 5月12日～5月29日 東和図書館 ○民間団体が実施する事業に対する支援 ・美術研修会 ・監視ボランティアの養成・研修のための他美術館等を視察 ・萬生誕祭、鉄人忌の後援
		◆令和3年度のまとめ◆ 新型コロナウイルス感染症防止のため、令和2年度より2年開催を中止している。	●令和4年度の重点● 郷土の先人である萬鉄五郎を顕彰する事業として、市民の芸術文化に対する関心や親しみを向上させるため、美術活動に取り組む機会を提供する。	◆令和4年度のまとめ◆ 写生作品の応募が少ないのではないかと危惧していたが、例年の参加人数並みに応募があった。
		⑤萬鉄五郎美術館等整備事業 【萬鉄五郎記念美術館】 ・(仮称)萬鉄五郎記念美術館収蔵庫施設改修工事(令和3年9月15日から令和4年1月13日まで→3月23日までに変更)42,141千円(当初41,800千円) ・(仮称)萬鉄五郎記念美術館収蔵庫施設改修工事監理業務(令和3年9月25日から令和4年1月26日まで→3月31日までに変更)2,145千円	⑤萬鉄五郎美術館等整備事業 【萬鉄五郎記念美術館】 萬鉄五郎記念美術館空調設備について、設備の更新または改修について基本設計で方針を決め、具体的な内容を実施設計を行う。(令和4年7月～11月を予定)	⑤萬鉄五郎美術館等整備事業 【萬鉄五郎記念美術館】 萬鉄五郎記念美術館空調設備について、設備の更新または改修について基本設計で方針を決め、具体的な内容を実施設計を行う。(令和4年7月～11月を予定)
		◆令和3年度のまとめ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響で一部設備の納入が遅れ、年度内の納品が可能か心配されたが無事納品となった。今後収蔵庫の温湿度環境を確認し作品を搬入していくが、作品を適正な環境で収蔵できるよう進める。	●令和4年度の重点● 空調設備について開館当時の設備を使用していることから工事に向け、設備の更新か改修かを基本設計にて行い、具体的な内容を実施設計で決めていく。	◆令和4年度のまとめ◆ 美術館の空調設備に関しては、設備の更新を行う基本設計及び実施設計を完了し令和5年度秋に改修工事を実施予定。
2. 先人の顕彰	(1) 郷土の先人に対する理解の促進	①先人顕彰推進事業 【生涯学習課】 ○共同企画展(12月11日～令和4年1月23日) ・「ぐるっと花巻・再発見!～イーハトーブの先人たち～」 開催館 3館(花巻新渡戸記念館、博物館、萬鉄五郎記念美術館) (期間中入館者 2,007人) ○先人ギャラリー展(令和4年1月29日～2月20日) ・テーマ「イーハトーブの先人たち」「斎藤宗次郎」 文化会館、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館 (期間中入館者 3,603人)	①先人顕彰推進事業 【生涯学習課】 ○共同企画展(12月11日～令和4年1月23日) ・「ぐるっと花巻・再発見!～イーハトーブの先人たち～」 開催館 5館(花巻新渡戸記念館、博物館、萬鉄五郎記念美術館、花巻市総合文化財センター、高村光太郎記念館) ○先人ギャラリー展 ・テーマ未定 文化会館、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館 ○偉人マンガ制作事業 ・テーマ「佐藤昌介」	①先人顕彰推進事業 【生涯学習課】 ○共同企画展(12月11日～令和4年1月23日) ・「ぐるっと花巻・再発見!～イーハトーブの先人たち～」 開催館 5館(花巻新渡戸記念館、博物館、萬鉄五郎記念美術館、花巻市総合文化財センター、高村光太郎記念館) (期間中入館者数1,998人) ○先人ギャラリー展 ・テーマ「イーハトーブの先人たち」「池田次男」 文化会館、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館 (期間中入館者数) ○偉人マンガ制作事業 ・テーマ「佐藤昌介」
		◆令和3年度のまとめ◆ ・共同企画展は新型コロナウイルスの影響で開催館が例年の5館から3館へと規模を縮小しての開催となった。しかし、昨年度に比べると期間中の来館者数は増加している。 ・先人ギャラリー展については、今年度の花巻市民劇場と関連した題材が好評であった。今後も、周年事業の対象となる先人や他施設の企画展などと連動した題材選びを行っていきたい。パネルの枚数や設置場所の拡充が課題。	●令和4年度の重点● ・共同企画展では、再び開催館を5館とし、より幅広い世代に先人への興味を持ってもらい、各館に足を運ぶ契機となるような魅力的な展示を企画する。 ・偉人マンガ制作事業は、市民によって構成されていた佐藤昌介顕彰会の協力を得ながら、小学生向けの伝記マンガ本を作成する。完成したマンガはより親しみやすい教材として市内の教育現場で活用し、先人への興味関心を醸成すると共にキャリア教育にも役立てていくもの。	◆令和4年度のまとめ◆ ・共同企画展では、昨年の3館から例年どおりの5館に開催館を増やしたが、新型コロナウイルスの影響もあり全体の入館者数は伸び悩んだ。しかし、スタンプラリーの達成者はコロナ前よりも増えており、コロナ禍だからこそ出かけるきっかけを探している人たちが多く感じた。 ・偉人マンガは、検討委員会でのチェックや有識者による監修を重ねながら、より子どもたちに読みやすく、また伝わりやすい作品づくりをすすめた。

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
		<p>②宮沢賢治普及・啓発事業(宮沢賢治イーハトーブ館) 【宮沢賢治イーハトーブ館】</p> <p>○企画展</p> <p>①安藤徳香「やまなし」原画展 (令和3年4月1日～5月31日 入館者 1,412人)</p> <p>②3・11東日本大震災の記憶・陸前高田 (7月3日～8月31日 入館者 2,826人)</p> <p>③宮沢賢治とオノマトペ (8月7日～11月17日 入館者 4,801人)</p> <p>④イーハトーブの風景 亀澤裕子押し花展Ⅱ (11月20日～令和4年1月20日、入館者 2,112人)</p> <p>⑤賢治さんの世界を描く絵画展 (1月22日～3月31日、入館者 1,444人)</p> <p>○セミナー等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「3・11東日本大震災の記憶から学ぶ防災について・陸前高田編」(6月19日 参加者 50人) ・夏季セミナー(8月7日、テーマ「宮沢賢治とオノマトペ」、参加者等 82人(会場 35人(オンライン)YouTube 47人) ・研究発表会(9月23日、参加者 54人(オンライン)) ・セミナー(10月3日、テーマ「宮沢賢治で卒論・修論書いてみる?」、参加者 30人(オンライン)) <p>◆令和3年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画していた企画展等は、休館期間があったものの予定どおり開催できた。 ・今年度の成果として、夏季セミナー、研究発表会、セミナーを開催するにあたり、オンライン等を活用し遠方の方々にも参加いただける環境づくりに取り組んだ。 ・課題として、参加者等が若干少なかったことで事業開催の広報等に課題が残った。 ・次年度以降についても、いわゆる、ウィズコロナ時代の事業展開を考え、オンラインを活用しながら多くの参加者を確保するため広報活動を充実させたい。 	<p>②宮沢賢治普及・啓発事業(宮沢賢治イーハトーブ館) 【宮沢賢治イーハトーブ館】</p> <p>○企画展</p> <p>①宮沢賢治とエスペラント展(令和4年4月2日～6月27日)</p> <p>②宮沢賢治一沢村澄子 現象的書展(7月2日～10月10日)</p> <p>③イラスト展 ひかるの世界(10月15日～1月20日)</p> <p>④賢治さんの世界を描く絵画展(1月22日～3月31日)</p> <p>○セミナー等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春季セミナー「高畑勲の遺したものー宮沢賢治をめぐって」(4月23日) ・地方セミナーin大阪(12月～R5.3月) ・研究発表会(9月23日) ・セミナー(10月2日、テーマ「宮沢賢治で卒論・修論書いてみる?」) <p>●令和4年度の重点●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー等の開催は、オンラインを活用して多くの方が参加できる環境づくりに取り組む。 	<p>②宮沢賢治普及・啓発事業(宮沢賢治イーハトーブ館) 【宮沢賢治イーハトーブ館】</p> <p>○企画展</p> <p>①宮沢賢治とエスペラント展 (令和4年4月2日～6月27日 入館者:5,978人)</p> <p>②宮沢賢治一沢村澄子 現象的書展 (7月2日～10月10日 入館者:10,017人)</p> <p>③イラスト展 ひかるの世界 (10月15日～1月20日 入館者:5,192人)</p> <p>④賢治さんの世界を描く絵画展 (1月22日～3月31日 入館者:1,500人)</p> <p>○セミナー等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春季セミナー「高畑勲の遺したものー宮沢賢治をめぐって」(4月23日 参加者:76人) ・地方セミナーin大阪(R5.3月21日 参加者:300人) ・研究発表会(9月23日 参加者:74人) ・セミナー (10月2日(ZooM)、テーマ「宮沢賢治で卒論・修論書いてみる?」 参加者:30人) <p>◆令和4年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展、セミナーについてはオンラインを活用し、予定どおり開催することができた。 ・入館者、参加者については、前年に比べ増加した。 ・セミナー等について、対面での開催もすることができ、イーハトーブ館の目的である、広く学術及び文化の発展に寄与した。
		<p>③企画展示事業 【新渡戸記念館】、【萬鉄五郎記念美術館】、【博物館】</p> <p>【新渡戸記念館】</p> <p>○特別展・企画展</p> <p>①特別展「新渡戸稲造のことば展」 (6月1日～10月10日 来館者 1,146人)</p> <p>②特別展「新渡戸稲造のことば展」(延長) (10月11日～11月23日 来館者 1,464人)</p> <p>※8月14日～9月24日臨時休館。「書画展」は中止し「新渡戸稲造のことば展」を延長</p> <p>③共同企画展「新渡戸傳 没後150年」 (12月11日～令和4年1月23日 来館者 409人)</p> <p>④収蔵資料展「雛人形展」 (2月11日～4月3日)</p> <p>○教育普及事業</p> <p>①移動研修(奥州市方面)(12月7日 17人)</p> <p>②開館30周年記念講演会「新渡戸稲造と津田梅子」(10月16日 36人)</p> <p>※①は9月から12月開催へ変更、②は人数制限をし録画映像で開催</p> <p>◆令和3年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展においては、新渡戸がジュネーブで揮毫して矢沢尋常高等小学校に送った書进行示し、教育者新渡戸を紹介した。移動研修では、水沢を訪れ、後藤新平との関わりを、又、講演会では津田塾大学の学長による津田梅子との繋がりを学ぶ機会を設け、生涯学習ニーズの多様化に対応する事業を実施した。コロナ禍において、入館者は減少しているが、主催事業に関しては、市の広報等で周知した結果、全て定員を上回る参加者となっている。今後も広く市民に花巻における新渡戸家、そして、稲造の魅力を発信していきたい。 	<p>③企画展示事業 【新渡戸記念館】、【萬鉄五郎記念美術館】、【博物館】</p> <p>【新渡戸記念館】</p> <p>○特別展・企画展</p> <p>①特別展「新渡戸稲造の著作集」(6月11日～9月25日)</p> <p>②特別展「八重樫豊澤～新渡戸傳の書画の師匠～」(11月1日～11月23日)</p> <p>③特別展「収蔵資料展～雛人形展」(2月11日～4月3日)</p> <p>④共同企画展「新渡戸十次郎」(12月10日～1月22日)</p> <p>○教育普及事業</p> <p>①移動研修(盛岡市方面)(9月2日)</p> <p>②開館記念行事 「新渡戸フェスティバル」 郷土芸能と講演(10月15日)</p> <p>○教育普及事業</p> <p>①移動研修(盛岡市先人記念館)(9月2日、参加者18人)</p> <p>②開館記念行事 「新渡戸フェスティバル」(10月15日、来場者257人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能(安野地域の神楽、地元園児による神楽と和太鼓) ・講演会「「一本の水路がはぐくむ 私たちのふるさと探訪」 講師 奈良哲紀 氏((新渡戸十次郎研究家 青森市在住) <p>③新渡戸教室 学習旅行等の来館校、市内各種団体への講師対応</p> <p>●令和4年度の重点●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じうえで、特別展等及び教育普及事業を実施し、広く市民に花巻における新渡戸家、そして、稲造の魅力を発信する。 	<p>③企画展示事業 【新渡戸記念館】、【萬鉄五郎記念美術館】、【博物館】</p> <p>【新渡戸記念館】</p> <p>○特別展・企画展</p> <p>①特別展「新渡戸稲造の著書Ⅰ」 (6月11日～9月25日、来館者2,413人)</p> <p>②特別展「八重樫豊澤～新渡戸傳の書画の師匠～」 (11月1日～11月30日、来館者723人)</p> <p>③特別展「収蔵資料展～雛人形展」 (2月11日～4月3日、実施中)</p> <p>④共同企画展 「新渡戸十次郎」 (12月10日～1月22日、来館者396人)</p> <p>○教育普及事業</p> <p>①移動研修(盛岡市先人記念館)(9月2日、参加者18人)</p> <p>②開館記念行事 「新渡戸フェスティバル」(10月15日、来場者257人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能(安野地域の神楽、地元園児による神楽と和太鼓) ・講演会「「一本の水路がはぐくむ 私たちのふるさと探訪」 講師 奈良哲紀 氏((新渡戸十次郎研究家 青森市在住) <p>③新渡戸教室 学習旅行等の来館校、市内各種団体への講師対応</p> <p>◆令和4年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、流行の波がある中でも3年ぶりに休館期間が生じることがなく、特別展・企画展・教育普及事業のすべてを予定どおりに実施することができた。 ・市内小中学校の団体見学は前年度の半数の2校であったが、市内各種団体からの依頼に応じて新渡戸教室を実施した。 ・年間来館者数は、6,800人程度の見込となり、コロナ禍前の10,000人超の状況には及ばないが前年(R3 5,054人)と比べ36%増と向上きとなってきた。 ・広く市民に花巻における新渡戸家、そして、稲造の魅力を発信することに努めた。

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
		<p>【萬鉄五郎記念美術館】</p> <p>①つながる ひろがる 萬鉄五郎展 （4月24日～7月4日 来館者 570人）</p> <p>②宮西達也展 （7月10日～9月26日→8月14日～9月25日休館したため会期を10月3日まで延長 来館者 3,883人）</p> <p>③宇津宮功展 （10月2日～11月28日→②宮西達也展延長により会期を10月9日～12月3日までに変更 来館者 949人）</p> <p>④収蔵品展 先人顕彰事業「モンタン展」 （12月11日～2月23日の会期を4月17日まで延長したため開催せず）</p>	<p>【萬鉄五郎記念美術館】</p> <p>①萬鉄五郎 私の履歴書（4月23日～7月3日）</p> <p>②五味太郎作品展 絵本の時間3（7月9日～9月25日）</p> <p>③橋場あや展（10月1日～12月4日）</p> <p>④収蔵品展（3月4日～3月31日）</p>	<p>【萬鉄五郎記念美術館】</p> <p>①萬鉄五郎 私の履歴書（4月23日～7月3日）</p> <p>②五味太郎作品展 絵本の時間3（7月9日～9月25日）</p> <p>③橋場あや展（10月1日～12月4日）</p> <p>④大宮政郎展（3月11日～3月31日）</p>
		<p>◆令和3年度のまとめ◆</p> <p>・令和3年度は、若年層への美術の普及を図る絵本作家展、岩手出身、花巻ゆかりの作家に光を当てた作品展などの企画展を開催し好評を博した。令和4年度も引き続き美術普及に資する企画や、県内で活動している作家、萬鉄五郎ゆかりの作家を紹介する企画により美術の普及に努めたい。・新型コロナウイルス感染拡大のため、8月14日より約1か月半休館し、展覧会の日程も当初より変更になったが各展覧会関係者のご厚意もあり対応できた。今後も会期の変更や展覧会事態の変更は予想されるので調整対応できるよう努めたい。</p>	<p>●令和4年度の重点●</p> <p>美術館が企画展示事業及び関連事業を展開し参加・鑑賞の機会を提供することで、芸術文化に関心や親しみを感じる市民を増加させるべく、萬鉄五郎・親子向け・岩手の美術家・花巻の美術家を紹介する展覧会を行い、バランスの取れた展示を目指していく。</p>	<p>◆令和4年度のまとめ◆</p> <p>・令和4年度は休館や会期の変更もなく、萬鉄五郎を顕彰する企画展や、若年層への美術の普及を図る、絵本作家の五味太郎作品展、障がい者の美術教育の先駆的な存在で岩手出身の作家、橋場あやの作品展、同じく岩手出身で11月に亡くなった本県のアートシーンを牽引しつつ世界で活躍した、大宮政郎展などの企画展を開催し、萬鉄五郎のみならず岩手の美術を紹介する企画展などを開催し好評を博した。</p>
		<p>【博物館】</p> <p>①特別展「光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界」</p> <p>②テーマ展「鉄道と花巻-近代のクロスロード-」</p> <p>③ミニ展示「奥羽再仕置430年記念事業 稗貫・和賀両郡と再仕置」</p> <p>④テーマ展「新収蔵品-あーとへのいざない」</p> <p>⑤～花巻から世界へ～菊池雄星投手＆大谷翔平選手 花巻東高校サイン入りユニフォーム展示</p> <p>⑥共同企画展「多田等観-運命のチベット、そして花巻-」</p> <p>⑦テーマ展「博物館のひなまつり-花巻人形展」</p> <p>⑧ミニ展示「花博コレクション-特別篇-」</p>	<p>【博物館】</p> <p>①テーマ展「屏風と襖」</p> <p>②特別展「シャガール、ピカソ、ダリからロックウエルまで カラフルでワンダフルな 20世紀巨匠の版画達 Sasa Adair コレクション」</p> <p>③テーマ展「花巻のやきもの-縄文から現代-」</p> <p>④共同企画展「山の暮らし」</p> <p>⑤テーマ展「花巻人形展」</p>	<p>【博物館】</p> <p>①テーマ展「屏風と襖」 （5月21日～6月26日 入館者 1,251人）</p> <p>②特別展「シャガール、ピカソ、ダリからロックウエルまで カラフルでワンダフルな 20世紀巨匠の版画達 Sasa Adair コレクション」 （7月16日～8月28日 入館者 3,146人）</p> <p>③テーマ展「花巻のやきもの-縄文から現代-」 （9月17日～11月20日 入館者 1,618人）</p> <p>④共同企画展「山の暮らし」 （12月10日～R5年1月29日 入館者 846人）</p> <p>⑤テーマ展「花巻人形展」 （2月18日～5月7日）</p>

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
		<p>◆令和3年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、8月14日から9月24日まで休館したため「鉄道と花巻展」は会期半ばで終了し、「新収蔵品展」は1週間遅らせての開催となった。 ・急遽開催された菊池雄星投手＆大谷翔平選手のユニフォーム展示はとても盛況で、24日間で5,299人の観覧があった。 ・企画展「ブドリのイーハトーブ災害ノート-近世近代東北の災害史-」の開催準備を進めていたが、展示の主要資料を借用することとしていた青森県、福島県において感染症が拡大し、まん延防止措置が発令されたため、資料の借用を断念し開催を中止した。 ・中止した企画展の代替えとして「花博コレクション-特別篇」を企画・展示し、臨機応変に対応した。 	<p>●令和4年度の重点●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、開館している。 ・特別展「20世紀巨匠の版画達」は、20世紀の巨匠、ピカソ、シャガール、ミロ、ダリ等の、リトグラフやポスター、情報誌の表紙絵として制作された版画の世界を紹介する。 ・テーマ展「屏風と襖」は、博物館が所蔵している屏風や襖から、花鳥や山水、人物が描かれた様々な作品を紹介する。 ・テーマ展「花巻のやきもの」では、花巻ゆかりの縄文土器から現代の陶磁器までを紹介し、花巻のやきものの歴史と文化をたどる。地域のやきものに触れながら、親しみ、愉しむひと時を提供したい。 ・共同企画展「山の暮らし」では、山を生業の場とした人々に焦点を当て、花巻での山の暮らしに迫る。 ・テーマ展「花巻人形」は、博物館に所蔵する570種類3,500点以上に及ぶ花巻人形の中から、選りすぐりを紹介する。 	<p>◆令和4年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響で休館することなく、予防対策を講じながら開館した。 ・特別展「20世紀巨匠の版画達」は、シャガールやピカソ、ダリ等20世紀の巨匠による、当時のヨーロッパとアメリカの大衆芸術のイメージを形成した版画の世界を紹介し、好評を博した。 ・テーマ展「花巻のやきもの」では、花巻のやきものの歴史と文化をたどりながら、現在活躍している陶芸家にも注目し、地域のやきものに触れ、親しんでもらうことができた。 ・その他の展示においては、博物館が所蔵している作品や資料を活用して、多くの方々にご覧いただくことができた。 ・博物館の様々なイベント情報の発信は、広報やホームページ、フェイスブック等のSNSを活用した。

<生涯学習に関連する事業>

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
2. 先人の顕彰	<p>(1) 郷土の先人に対する理解の促進</p> <p>(2) 賢治さんの香りあふれるまちづくりの推進</p>	<p>①賢治のまちづくり推進事業 【賢治まちづくり課】</p> <p>○賢治セミナー等講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はなまき賢治セミナー（親子編 3回 延べ受講者数 34組 77人 一般編 3回 延べ受講者数 20人） →一般編全3回のうち1回はYouTube配信 ・「賢治の世界」セミナー（18回開催、受講者 1,697人） ・「賢治の世界」ワークショップ（3回開催、参加者 50人） <p>○宮沢賢治賞・イーハトーブ賞贈呈式 宮沢賢治賞 1人、イーハトーブ賞 1人、イーハトーブ賞奨励賞 1団体（贈呈式11月21日）</p> <p>○宮沢賢治記念館特別展</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「童話 なめとこ山の熊」（4月1日～5月9日） ②「賢治の祈り～羅須地人協会～」(5月15日～8月13日) ③「賢治の祈り～雨ニモマケズ～」(9月25日～令和4年1月30日) ④「賢治の祈り～農民芸術～」(2月5日～5月8日予定) <p>○全国高校生童話大賞 応募958作品、金賞1作品、銀賞3作品、銅賞8作品（表彰式12月11日）</p> <p>○宮沢賢治創造芸術公演 →中止</p> <p>○賢治フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童話村の森ライトアップ2021（7月17日～8月15日・9月25日～10月17日 入場者 19,524人） ・イーハトーブフェスティバル2021→中止 <p>○賢治アートストリート 10基のオブジェに応募絵画作品を入れ替えながら展示（4月1日～令和4年3月31日予定）</p> <p>○賢治イベントカレンダー 2021秋冬号 15,000部 8月発行、2022春夏号 16,000部 3月発行予定</p> <p>◆令和3年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症による施設の臨時休館により、開催中であった宮沢賢治記念館特別展②及び③の開始時期や、同じく開催中であった童話村の森ライトアップ2021が大きな影響を受けた。 ・賢治フェスティバルは、当市ほか8団体で組織された実行委員会が実施している事業である。いくつかの構成団体により、童話村の森ライトアップの会場やライトアップのオブジェを活用した新たな試みが行われ、好評であった。 	<p>①賢治のまちづくり推進事業 【賢治まちづくり課】</p> <p>○賢治セミナー等講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はなまき賢治セミナー（親子編 3回、一般編 3回） ・「賢治の世界」セミナー ・「賢治の世界」ワークショップ <p>○宮沢賢治賞・イーハトーブ賞贈呈式 （贈呈式9月22日）</p> <p>○宮沢賢治記念館特別展</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「賢治の祈り～農民芸術～」(4月1日～5月8日) ②「童話 ツェねずみ」(5月14日～7月18日) ③「心象スケッチ 春と修羅」(7月23日～9月25日) ④「童話 カイロ団長」(10月1日～令和5年5月7日) <p>特別企画「雨ニモマケズ手帳公開」(9月16日～9月25日)</p> <p>○全国高校生童話大賞 （表彰式12月10日）</p> <p>○宮沢賢治創造芸術公演 東北農民管弦楽団花巻公演（令和5年2月26日）</p> <p>○賢治フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童話村の森ライトアップ2022（7月23日～10月30日） ・イーハトーブフェスティバル2022（8月27・28日） <p>○賢治アートストリート 10基のオブジェに応募絵画作品を入れ替えながら展示（4月1日～令和5年3月31日）</p> <p>○賢治イベントカレンダー 2022秋冬号 8月発行、2023春夏号 令和5年3月発行</p> <p>●令和4年度の重点●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、宮沢賢治関連のセミナー・ワークショップ・企画展等を実施するとともに、イベント開催等の情報収集・発信を行う。 ・童話村の森ライトアップ（賢治フェスティバル）において、新たな演出の試みや野外ステージを活用したイベントの開催、期間中の様々な団体企画に協力することによって、ライトアップの魅力向上を図る。 	<p>①賢治のまちづくり推進事業 【賢治まちづくり課】</p> <p>○賢治セミナー等講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はなまき賢治セミナー（親子編 3回 受講者 50人、一般編 3回 受講者 32人） ・「賢治の世界」セミナー（17回開催、受講者 1,508人） ・「賢治の世界」ワークショップ（3回開催、参加者 41人） <p>○宮沢賢治賞・イーハトーブ賞贈呈式 宮沢賢治賞 1人、イーハトーブ賞 1団体、宮沢賢治賞奨励賞 1団体、イーハトーブ賞奨励賞 1団体（贈呈式9月22日）</p> <p>○宮沢賢治記念館特別展</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「賢治の祈り～農民芸術～」(4月1日～5月8日) ②「童話 ツェねずみ」(5月14日～7月18日) ③「心象スケッチ 春と修羅」(7月23日～9月25日) ④「童話 カイロ団長」(10月1日～令和5年5月7日予定) <p>特別企画「雨ニモマケズ手帳公開」(9月16日～9月25日)</p> <p>○全国高校生童話大賞 応募651作品、金賞該当なし、銀賞4作品、銅賞8作品（表彰式12月10日）</p> <p>○宮沢賢治創造芸術公演 東北農民管弦楽団 第7回定期演奏会 花巻公演（令和5年2月26日）</p> <p>○賢治フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童話村の森ライトアップ2022（7月23日～10月30日 入場者 31,285人） ・イーハトーブフェスティバル2022（8月27・28日 入場者 1,680人） <p>○賢治アートストリート 10基のオブジェに応募絵画作品を入れ替えながら展示（4月1日～令和5年3月31日）</p> <p>○賢治イベントカレンダー 2022秋冬号 14,800部 8月発行、2023春夏号 19,000部 令和5年3月発行予定 2022春夏号 3,200部 7月増刷</p> <p>◆令和4年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、計画していた事業を中止することなく実施することができた。 ・童話村の森ライトアップ（賢治フェスティバル）において、伝統工芸「花巻傘」や市民制作オブジェをライトアップ展示したり、市内高校生による「朗読と鹿踊の夕べ」を野外ステージ上で開催したりしたほか、様々な団体の企画などにより、2016から2022までの7回で最多の入場者を記録した。 ・イーハトーブフェスティバル（賢治フェスティバル）において、事前収録した映像プログラムを野外ステージ上に設置した大スクリーンに上映するとともに、YouTubeでの同時配信やアーカイブ配信をするなど、感染症対策を意識した開催形式を試みた。

施策の領域	取り組み	令和3年度の主な事業報告	令和4年度の主な事業計画	令和4年度の主な事業報告
		<p>②企画展示事業 【高村光太郎記念館】、【総合文化財センター】</p> <p>【高村光太郎記念館】 ①企画展「光太郎の三陸廻り」 （7月16日～8月30日 来館者 448人） ②企画事業「光太郎の父 光雲の緬女命 受け継がれた『形』」 （2月23日～5月15日 来館者1,666人）</p>	<p>②企画展示事業 【高村光太郎記念館】、【総合文化財センター】</p> <p>【高村光太郎記念館】 ①企画展「光太郎、海を航る」 （7月～9月） ②企画展「光太郎の食卓」 （10月）</p>	<p>②企画展示事業 【高村光太郎記念館】、【総合文化財センター】</p> <p>【高村光太郎記念館】 ①企画展「光太郎、海を航る」 （7月16日～9月30日 来館者数 2,180人） ②企画展「光太郎、つくりくふ。ーおやつ編ー」 （11月23日～3月21日 来館者数 791人）※2月末現在 ③共同企画展「ぐるっと花巻 再発見！ーイーハトーブの先人たちー 「高村光太郎の『開拓に寄す』」 （12月10日～1月22日 来館者数 267人） ④高村光太郎記念館講座「光太郎のそば粉おやつ教室」 （令和5年1月29日 1講座 5組 12人）</p>
		<p>◆令和3年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「光太郎の三陸廻り」は、高村光太郎記念会に企画を業務委託し開催。光太郎が花巻で生活する前に新聞社からの依頼により三陸取材したエピソードを紹介した企画展。一時コロナの影響により休館となったが、開館後は期間を延長して開催した。 ・企画事業「高村光雲の父 光雲の緬女命 受け継がれた『形』」は、やつかのもりLLCに協力いただきながら開催。昨年度にも展示した緬女命を中心に光雲と関わりのある「仏師」に視点をあてた企画展。 ・コロナの影響も大きいと思うが、来館者の減少が続いており、記念館に足を向けてくれる事業企画が課題である。 	<p>●令和4年度の重点●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展について、高村光太郎記念会に企画を委託し、光太郎の欧米留学中の資料や当時の海外渡航事情について紹介する。 ・昨年度、コロナ感染症の影響により開催を見送った「光太郎の食卓」について企画展と講座を開催する。 ・来館するきっかけとなる企画を実施。 	<p>◆令和4年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展①「光太郎、海を渡る」は高村光太郎記念館に企画を委託し、②「光太郎、つくりくふ。ーおやつ編ー」はやつかのもりLLCに企画協力していただきながら予定どおり開催することができた。 ・また、2年ぶりに記念館講座の開催や、先人顕彰事業として開催している共同企画展についても参加開催することができた。 ・来館者数が令和3年度と比較し、少し増加してきているものの、引き続き記念館に足を向けてくれる事業企画が課題である。
		<p>【総合文化財センター】 ①企画展1「山博コレクションー早池峰に咲く花ー」 （4月24日～6月13日 来館者 133人） ②企画展2「10周年記念展 JOMON-花巻の縄文文化-」 （7月17日～10月31日 来館者 289人） ③企画展1「遺跡のモノがたりー立石遺跡-」 （11月20日～令和4年1月30日 来館者 130人）</p>	<p>【総合文化財センター】 ①企画展1「エーデルワイスの世界～ハヤチネウスユキソウに魅せられた人 坂倉登喜子～」(6月11日～8月28日) ②企画展2「遺跡のモノがたりー花巻地域の遺跡ー」(7月17日～9月5日) ③共同企画展「早池峰の花を紹介した人々」(12月10日～令和5年2月12日)</p>	<p>【総合文化財センター】 ①企画展1「エーデルワイスの世界～ハヤチネウスユキソウに魅せられた人 坂倉登喜子～」 （6月11日～8月28日 来館者 674人） ②企画展2「遺跡のモノがたりー花巻地域の遺跡ー」 （7月17日～9月5日 来館者 168人） ③共同企画展「早池峰の花を紹介した人々」 （12月10日～令和5年2月12日 来館者 239人）</p>
		<p>◆令和3年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染症拡大により8月14日から9月24日まで休館した。 ・その対応のため、企画展の会期変更及び回数を変更した。 ・企画展にあわせて実施を計画していたが、中止した講演会や体験学習会もあった。 ・以上のことから、来館者数が伸びなかった。 	<p>●令和4年度の重点●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナウイルスの感染症対策に努め、企画展を実施。 ・埋蔵文化財のみならず早池峰をテーマにした企画展を実施することで、地域や世代、関心分野など幅広い層の来所を検討し企画した。 	<p>◆令和4年度のまとめ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の動向により感染対策に努め、企画展を実施。 ・埋蔵文化財関連は、これまでの発掘資料とともに、最新の調査成果を紹介した。展示に合わせて遺物に触れる講座を実施。 ・早池峰山関連では、女性登山家・坂倉登喜子、高山植物研究の先人に注目した展示を開催。 ・結果、例年より少ないものの企画展ベースで昨年度の倍の入所者となった。自然分野に関心を持つ来場者が増えた。